

製品名: アデュシン β ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06619**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:10000
分子量	81kDa

抗原情報

遺伝子名	ADD2
別名	ADD2; ADDB; Beta-adducin; Erythrocyte adducin subunit beta
遺伝子 ID	119.0
SwissProt ID	P35612
免疫原	抗血清はヒト ADD2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 471-520

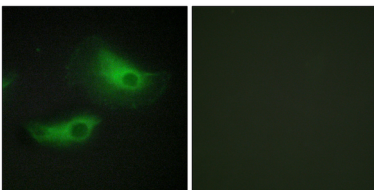
背景

アデュシン 2 (ADD2) ホモサピエンス アデュシンは、アデュシン α 、 β 、 γ と呼ばれる異なるサブユニットから構成されるヘテロ多量体タンパク質です。3つのサブユニットは別々の遺伝子によってコードされており、赤血球内および上皮組織の細胞間接触部位にお

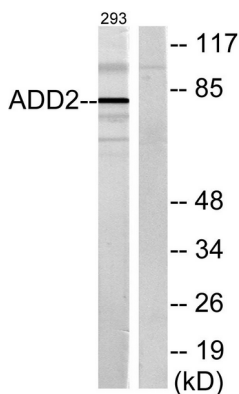
るスペクトリン-アクチン ネットワークの構築に関与する膜骨格タンパク質ファミリーに属しています。アデュシン α と γ は普遍的に発現しているのに対し、アデュシン β の発現は脳と造血組織に限定されています。アデュシンはもともとヒト赤血球から精製されたもので、アデュシン α と β のヘテロ二量体であることがわかりました。これら 2 つのサブユニットにおけるアミノ酸置換を生じる多型は、高血圧の動物モデルにおける血圧の調節に関連しています。 α サブユニットと γ サブユニットからなるヘテロ二量体も報告されています。構造的には、各サブユニットは 2 つの異なるドメインで構成されています。アミノ末端領域は、他のアイソフォームが存在する可能性があると考えられています。 ,発育段階: 胎児腎臓はアイソフォーム 3、4、5、6、7 を発現し、胎児肝臓はアイソフォーム 3 と 4 を発現します。 ,ドメイン: 各サブユニットは、3 つの領域で構成されています。NH₂ 末端のプロテアーゼ耐性球状頭部領域、短い連結サブドメイン、およびプロテアーゼ感受性尾部領域です。 ,機能: スペクトリン-アクチンネットワークの構築を促進する膜細胞骨格関連タンパク質。カルモジュリンに結合します。カルモジュリンは β サブユニットに優先的に結合します。 ,PTM: N 末端はブロックされています。 ,類似性: アルドラゼクラス II ファミリーに属します。アデュシンサブファミリー。 ,サブユニット: α サブユニットと β サブユニットのヘテロ二量体。 ,組織特異性: 主に脳、脾臓、腎皮質および髄質、心臓に発現する。また、ヒト臍帯静脈内皮細胞、ヒト血管平滑筋細胞、腎尿細管細胞、K562 細胞にも発現する。 ,

研究分野

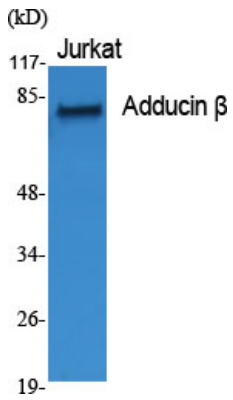
画像データ



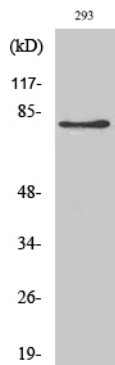
ADD2 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



ADD2 抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



アデュシン β ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



アデュシン β ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット解析